

# RYOBI®

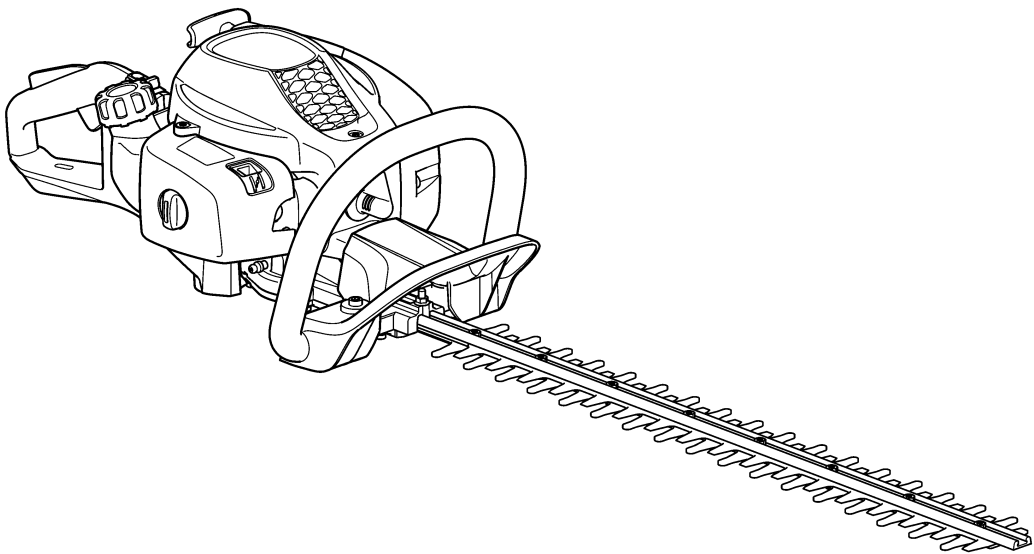
## エンジンヘッジトリマ

### EHK-450

### 取扱説明書

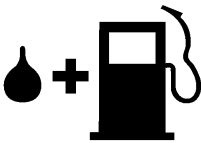

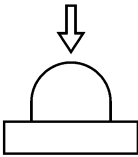

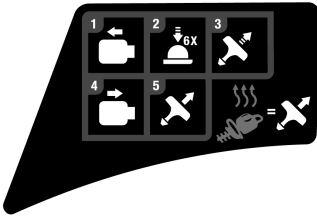
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



## 操作装置のシンボルマーク

運転操作および保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。  
これらの表示に従って **誤操作のないよう** ご注意ください。

マーク表示部位	図 柄	意 味	
燃料タンクキャップ		燃料の給油口および使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを示します。	
リヤハンドル		エンジン停止スイッチを矢印の方向に押すとエンジンが停止することを示します。	
エアクリーナカバー		表示の近くにプライマポンプがあることを示します。	
チョークレバー		矢印の方向にレバーを操作するとチョークが閉じることを示します。	
エアクリーナカバー 上面		始動方法の内容を示します。 12, 13頁の「エンジンのかけかた」を参照ください。	
エアクリーナカバー 底面	H	表示上の穴の奥のスクリュが高速ニードルであることを示します。	調整や設定変更は販売店にご依頼ください。
	L	表示上の穴の奥のスクリュが低速ニードルであることを示します。	
エアクリーナカバー 底面	T	表示近くのスクリュがアイドル調整スクリュであることを示します。	

# はじめに


このたびはリョービ製品をお買い上げいただきありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を發揮し、かつ快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保存し、分からないことがあった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。




## 安全 第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた  の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

### ■ 注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。


- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
|  <b>危険</b> | : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。  |
|  <b>警告</b> | : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。 |
|  <b>注意</b> | : 注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。       |
| <b>重要</b>   | : 注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。    |
| <b>補足</b>   | : その他、使用上役立つ補足説明を示します。                |

# 目次


<b>▲ 正しくお使いいただくために</b> .....	1
警告ラベルとその取扱い.....	6
サービスと保証について.....	7
製品主要諸元.....	8
各部の名称.....	9
標準付属品.....	9
燃料.....	10
給油.....	11
エンジンのかけかた.....	12
エンジンのとめかた.....	14
操作方法.....	15
点検整備.....	16
作業前後点検.....	16
定期点検.....	16
ブレード.....	17
エアクリーナ.....	19
冷却用空気通路.....	20
スパークプラグ.....	21
ギヤケース.....	22
安全装置(セーフティロック)の点検.....	22
マフラ.....	23
エンジンの調整.....	24
長期保管時の手入れ.....	25
故障のときは.....	26



## 正しくお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業するため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記のとおりですが、これ以外にも本文の中で「 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

### ■ 製品をお使いになる前に

- ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、製品の機能と取扱い上の注意事項をよくご理解ください。
- 本製品は生け垣など低木植栽および茶樹の刈り込みを用途として設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので、所定用途以外の目的には使用しないでください。
- 本製品は高速復動する刃物を装備しているため、操作を誤ると非常に危険です。疲労などで体調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作ができない恐れがある場合は、本製品を使用しないでください。また、本書の内容が理解できない人や子供には絶対に使わせないでください。
- エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。屋内やビニールハウス、トンネル内など、通気の悪い場所では本製品を使用しないでください。
- 次のような場合はお使いにならないでください。
  - ① 足元が滑りやすいなど、安定した作業姿勢の保持が困難な場合
  - ② 霧や夜間など、作業現場周辺の安全確認が困難な場合
  - ③ 天候悪化時(降雨、強風、雷など)
- 初めてお使いになる場合は、実作業に入るまえに熟練者から製品の取扱い指導を受けてください。
- 疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は30～40分を限度とし、10～20分の休憩を取ってください。また、1日の作業時間は2時間以内としてください。
- この取扱説明書は必ず保管して、分らないことがあった場合など必要に応じてご参照ください。
- 小さいお子様の手の届くところに保管しないでください。
- 本製品を譲渡または貸与する際は、この取扱説明書を必ず添付してください。



## 正しくお使いいただくために

### ■ 使用時の服装・装備

平地ではツバのある帽子、山や傾斜地ではヘルメットをかぶる。

防護めがねをつける。

耳せんを必ずつける。

アゴヒモのむすびは、たらさないようにする。

腕カバー

手袋は、丈夫なものでいつも乾いていること。

裾じまりのよいもの。

はきものはすべり止めのあるものにし、靴下はいつも乾いていること。

- 本製品をお使いになる際は、屋外作業にふさわしい服装を整え、次の用品を着用してください。

- ① 長袖長ズボンで厚手の作業服
- ② 作業帽子(傾斜地作業時はヘルメット)
- ③ 防護めがねまたは顔面防護ネット
- ④ 厚手の丈夫な作業用手袋(革製など)
- ⑤ 滑りにくい丈夫な保護長靴(先芯入り) または滑りにくい安全な靴(先芯入り)
- ⑥ 耳せん(特に長時間作業時)

また、次の用品を携行してください。

- ① 製品付属工具および目立てヤスリ
- ② 適切な容器に入れた燃料
- ③ ブレード汚れ落とし用ワイヤブラシ

- 裾じまりの悪い衣服や裸足、サンダル、草履などでの作業はしないでください。

### ■ 燃料に関する注意事項

- 本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。焼却炉、バーナー、たき火、かまど、電気スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。



- くわえタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。

- 燃料の補給や保管容器への注入作業は屋外の平坦な場所で行ってください。通気の悪い屋内で給油作業をすると気化した燃料に引火する恐れがあります。

- 使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。

- 給油後、燃料タンクキャップを確実に締め込み、燃料漏れなどが無いことを確認してください。

- 給油後は、燃料容器を密閉してから、3m以上離れた場所でエンジンを始動してください。

- 給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンをかける前に、機体に付着した燃料を完全にふき取ってください。



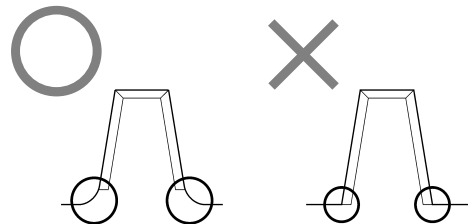
## 正しくお使いいただくために

### ■ 運搬時の注意事項

- 運搬する時は、ブレードに付属のブレードカバーを装着するか、適切な覆いをしてください。
- 車両で運搬する時は、燃料タンクを空にしてから機体を荷台に確実に固定してください。危険ですので自転車やバイクでの運搬はしないでください。
- 燃料タンクに燃料を入れたまま長時間悪路上を運搬しないでください。キャップがゆるみ燃料が漏れ出す恐れがあります。

### ■ 使用前の注意事項

- 作業を始める前に現場の状況（地形、障害物の位置、周囲の危険度など）をよく確かめ、移動可能な障害物は除去してください。
- 作業員から15m以内を危険区域とし、この中に人が立ち入らないようにしてください。また、数人で共同作業を行なう場合は、緊密に合図しあうなどして常に安全間隔を確保してください。
- 作業を開始する前に機体各部を点検し、ネジ類のゆるみ、燃料漏れ、損傷、変形などの異常がないことを確かめてください。特にハンドル取付部は入念に点検してください。
- ブレードはよく目立てされたものを使用してください。
- ブレードは、欠け、ひび割れ、曲がりなどがないことを確認してから使用してください。異常のあるブレードは絶対に使用しないでください。
- ブレードを研ぐときは割れ防止のため必ず刃元に丸みをつけてください。





## 正しくお使いいただくために

### ■ エンジン始動時の注意事項

- エンジンを始動する時は周囲（15m以内）の安全をよく確かめてください。



- 本製品はチョークレバーを引き出すと同時にスロットルレバーが始動位置にセットされます。そのため、エンジン始動と同時にブレードが動き始めます。始動時は、機体を安定した地面に置いて、ブレードやスロットルレバーが地面や周囲の障害物に触れないように機体をしっかり押さえ、ブレードから目を離さないでください。
- スロットルレバーを「高速」位置にしてエンジンを始動しないでください。
- エンジン始動後、スロットルレバーを完全に戻した状態でブレードが動かないことを確かめてください。ブレードが動き出す場合はエンジンを停止し、スロットルワイヤ他の点検整備を行なってください。  
（本文24ページ参照）

### ■ 作業時の注意事項

- 作業時は機体の握り部（ハンドルグリップ）を両手でしっかり握って操作してください。作業を中断する場合は、スロットルを完全に戻しブレードが止まってから手を離してください。
- 刈り込み作業はゆとりのある安定した姿勢で行ってください。
- エンジンの回転は作業に必要な範囲に保ち、不必要に上げないでください。
- ブレードにかみ込んだ枝を取り除いたり、ブレードや機体の点検、燃料補給が必要な場合は必ずエンジンを停止し、ブレードが完全に停止してから行ってください。
- 作業中はブレード部を体の方に向けるような操作はしないでください。
- ブレードが石などの硬いものに当たったときはすぐにエンジンを停止し、ブレードに異常がないか点検してください。
- 作業中に後方から声をかけられた場合は、振り向く前に必ずエンジンを停止してください。
- 電気ショックを受ける可能性がありますので、エンジン運転中はスパークプラグやコードに触れないでください。







## 正しくお使いいただくために

- 高温によるやけどの恐れがありますので、エンジン運転中および停止直後は素手でマフラなどの金属部に触れないでください。



- 作業を中断して移動したり、作業現場を一時的にはなれる時は、エンジンを停止し、ブレードにカバーを取り付けてください。
- 運転中は、冷却用空気取入れ口に物を差し込んだりしないでください。回転部品に触れる恐れがあり危険です。

### ■ 整備上の注意事項

- この取扱説明書では、製品の機能維持に必要な定期点検整備事項について説明しています。本書に記載されていない整備や修理が必要な場合は、お買い上げ店または最寄りのリョービ販売(株)営業所にご相談ください。

- 機体やブレード部の改造や分解等はいしないでください。運転中に機体が破損したり、正常な操作ができなくなる危険があります。

- 点検整備作業時は、必ずエンジンを停止してください。

- エンジン停止直後は、素手でマフラやスパークプラグに触れないでください。高温のためやけどの危険があります。



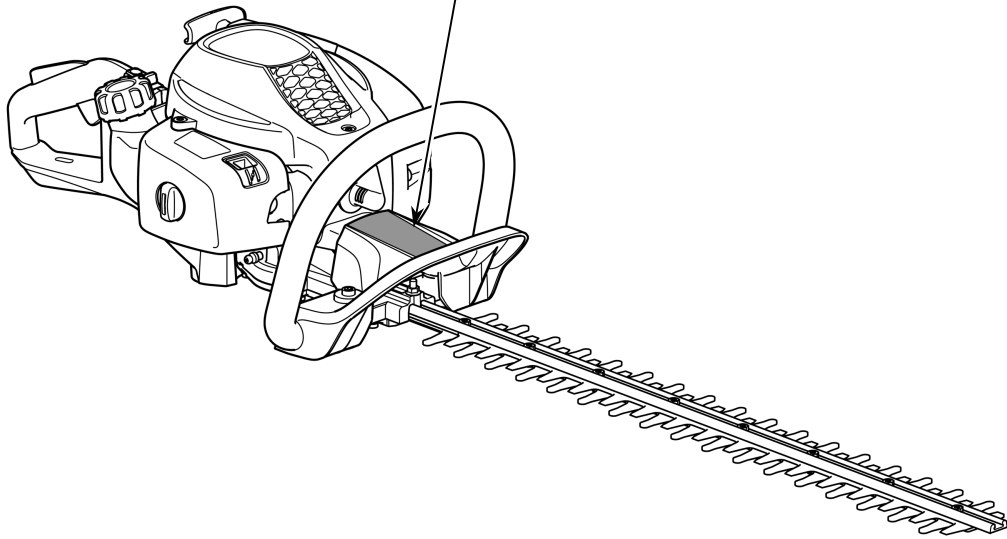
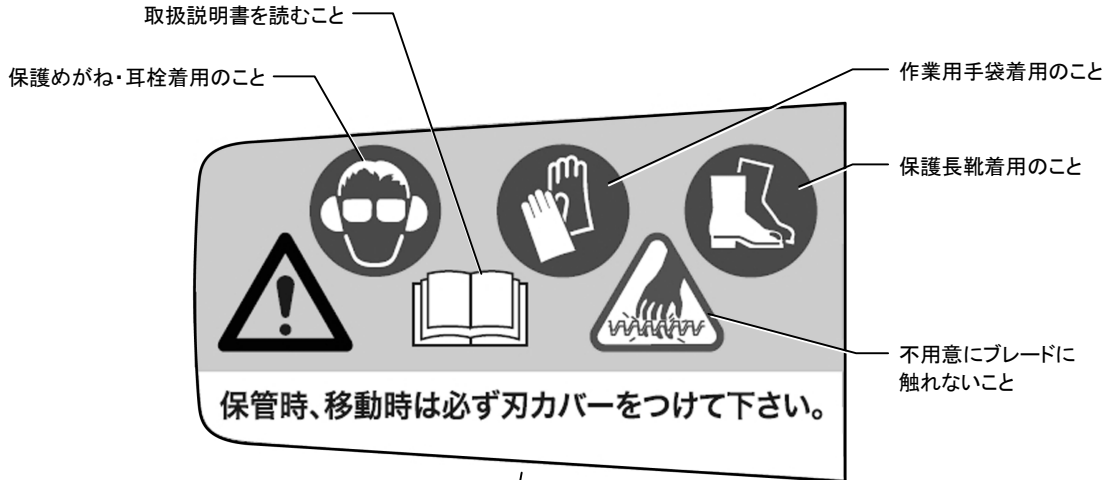
- ブレードの刃先は非常に鋭利なため不用意にさわると負傷する危険があります。ブレードの点検整備や研ぎ直しをするときは革製の丈夫な手袋を着用して慎重に作業ください。

- 消耗部品や補充用油脂類は、必ずリョービ純正品またはリョービ指定品を使用してください。



## 正しくお使いいただくために

### ■ 警告ラベルとその取扱い



### 【ラベルのメンテナンス】

- (1) 警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
- (2) 警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
- (3) 新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

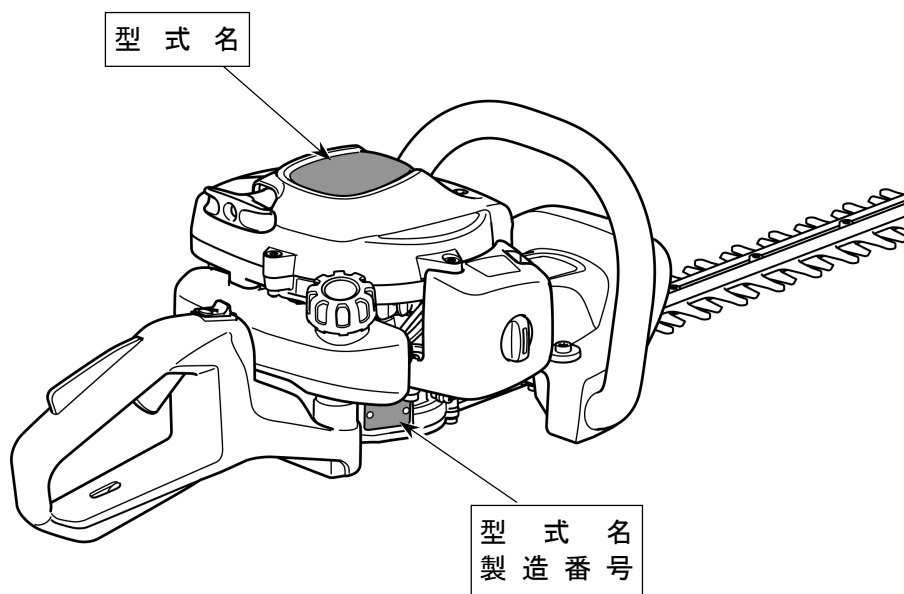
# サービスと保証について

## ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。

お問い合わせの際は型式名と製造番号（下図参照）をご連絡ください。

製品およびサービスに関してお気づきの点やご意見等ありましたらお気軽にお買い求めの販売店、もしくは最寄りのリョービ販売（株）営業所にお寄せください。



## 保証書について

本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

## 補給部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、製造打切後 8 年です。

ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。



機械の改造は危険ですので、改造しないでください。  
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

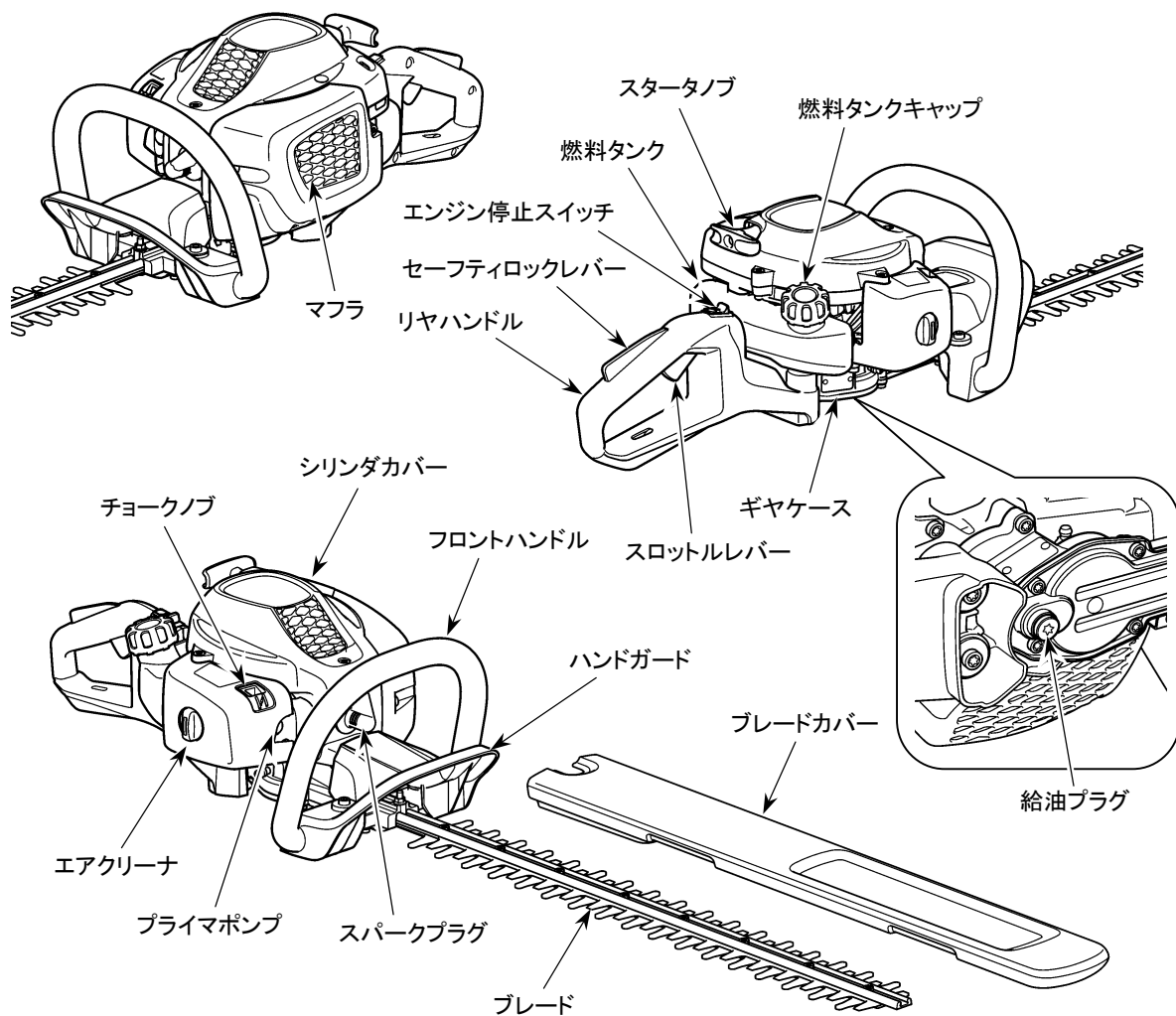
# 製品主要諸元

名 称 ・ 型 式		エンジンヘッジトリマ
		EHK-450
機 体 重 量 (※) kg		4.8
外形寸法	全 長 mm	985
	全 幅 mm	255
	全 高 mm	195
ブレード	タ イ プ	両刃複動式
	刈 幅 mm	450
	刃高×ピッチ mm	20×35
動 力 伝 達 方 式		自動遠心クラッチ、平歯車、カムクランク
減 速 比		4.44 (40 : 9)
エ ン ジ ン	形 式	単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン
	排 気 量 cm <sup>3</sup>	21.7
	燃 料 タ ン ク 容 量 L	0.3
	使 用 燃 料	潤滑油混合ガソリン 50(無鉛ガソリン):1(2サイクル専用オイルFC級またはFD級)
	使 用 潤 滑 油	2サイクルエンジン専用オイル
	キ ャ プ レ タ	ダイヤフラム、バタフライバルブ式(プライマポンプ付き)
	点 火 方 式	無接点式、フライホイールマグネト式
	ス パ ーク プ ラ グ	NGK CMR6A
	始 動 方 式	リコイルスタータ式
	停 止 方 式	点火回路一次側短絡式

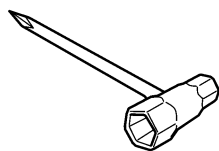
( ) 燃料、グリースを除く

改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。ご了承ください。

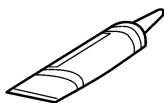
# 各部の名称



# 標準付属品



1



2



3

図番号	品名	1台分個数
1	プラグレンチ	1個
2	グリース	1個
3	取扱説明書	1冊

※:保証書が挟み込まれています。

# 燃 料

## ⚠ 危険

- 燃料は非常に引火しやすいため取扱いを誤ると火災事故の原因となります。また、気化した燃料は爆発して死傷事故を起こす恐れがあります。
- 燃料の混合時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。
- 混合作業は屋外で行ってください。
- ヘッジトリマや燃料容器を、たき火やバーナーなどの火気の近くに放置しないでください。

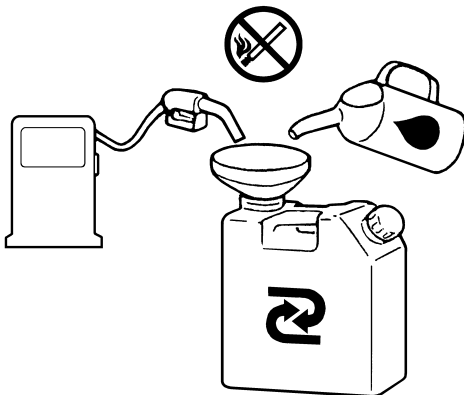
## 重 要

- オイルが混合されていないガソリン(生ガソリン)を使うとエンジンが焼き付きます。給油時は燃料が正しいか確かめてください。
- 燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。混合した燃料は、30日以内を目安に使い切るようにしてください。また、余った燃料は密閉容器に入れ、冷暗所に保管してください。
- 水が混入した燃料を使うと、キャブレタやエンジンの内部が腐食します。ヘッジトリマや燃料容器に水がかからないようにしてください。
- 4サイクルエンジン用オイルや水冷2サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。

図1

50 : 1

(無鉛ガソリン) : (2サイクル専用FC級、FD級オイル)



燃料は、最寄りのガソリンスタンドで「空冷2サイクルエンジン用混合ガソリン」をお求めになるか、自動車用無鉛ガソリンと空冷2サイクル専用FC級またはFD級オイルを左図割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

目安表

ガソリン	2サイクル専用オイル
400mL	8mL
1000mL	20mL
5000mL	100mL

# 給油



## 危険

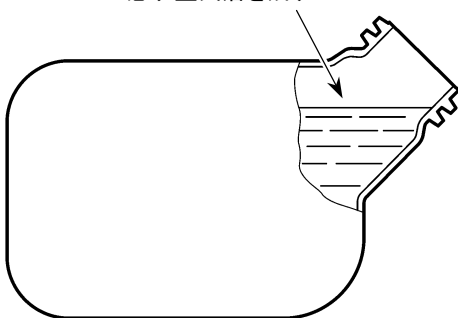
- 燃料タンクへの給油は屋外の平坦な場所で行ってください。給油時は火気を遠ざけタバコは消してください。
- 作業の途中で給油する場合は、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。
- 燃料キャップは確実に締め付けてください。
- 給油時にこぼれた燃料はエンジンをかける前に布でよくふき取ってください。

## 重要

燃料タンクへの給油量は、8分目を目安にしてください。  
燃料を入れ過ぎると、運転時に燃料タンクキャップから燃料が漏れる恐れがあります。

図2

必ず空気層を残す



1. 給油するヘッジトリマを屋外の平坦な場所に置いてください。
2. 燃料タンクキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。
3. 燃料タンクキャップを取り外し、8分目～9分目を目安に少しずつ給油してください。
4. 給油が終わったら燃料タンクキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。

## — リョービ ニュービッグバンガソリン —

「リョービ ニュービッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された2サイクルエンジン専用の混合燃料です。

変質しにくい特殊ガソリンの採用でキャブ詰まり追放

エンジン内部を摩耗や汚れから守り、排気をきれいにする各種添加剤配合

混合の手間不要

給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。

詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

# エンジンのかけかた



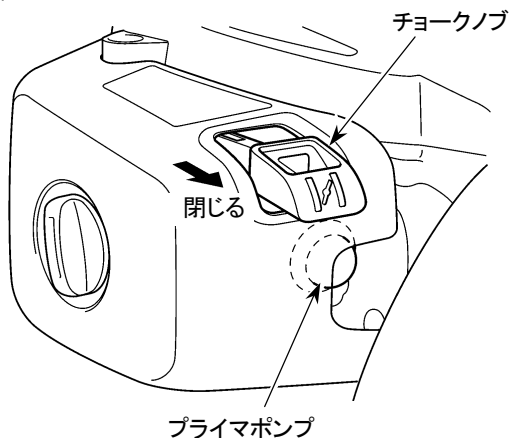
 危険	<ul style="list-style-type: none"><li>● 燃料を補給後エンジンを始動する場合は、機械を給油した場所から3m以上離れた場所に移してから始動してください。給油した場所で始動すると引火による火災の恐れがあります。</li><li>● 室内や換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。人体に有害な一酸化炭素中毒の恐れがあります。</li></ul>
 注意	<ul style="list-style-type: none"><li>● 始動前に機体各部を点検し、ハンドル取付部のゆるみやスロットルレバーの作動不良、ブレード取付部のゆるみや燃料漏れなどの異常がないことを確かめてください。</li><li>● エンジンの始動時・停止時・移動時は、常にスロットルレバーをアイドル位置にしてください。レバーがアイドル以外になっていると、ブレードが動き始めます。</li><li>● エンジン始動時に、チョークレバーを引き出すと同時にスロットルレバーが始動位置にセットされます。始動位置でエンジンがかかると、スロットルレバーを引かなくてもブレードが動き始めます。始動時は機体を安定した地面に置き、ブレードの周囲から障害物を遠ざけてください。</li><li>● エンジンがかかったら速やかにスロットルレバーを完全に戻し、ブレードが止まることを確認してください。ブレードが動き続ける場合は、エンジンを停止してスロットルワイヤおよびキャブレタのアイドル調整スクリュを点検してください。</li><li>● 運転時は常に両手でグリップ部を握り、ブレードから目を離さないでください。</li><li>● 火傷の恐れがありますので運転中および停止直後はエンジン本体やマフラの金属部に触れないでください。</li><li>● 感電によるショックを受けることがありますので運転中はスパークプラグやプラグコードに手を触れないでください。</li></ul>
重要	<p>チョークを閉じたまま始動操作を繰り返すと、スパークプラグの電極がぬれてエンジンがかからなくなることがあります。</p> <p>このような場合は、チョークを開いてからスタータロープを繰り返し引くか、スパークプラグを取り外して電極を乾かしてから始動操作をやり直してください。</p>



図3



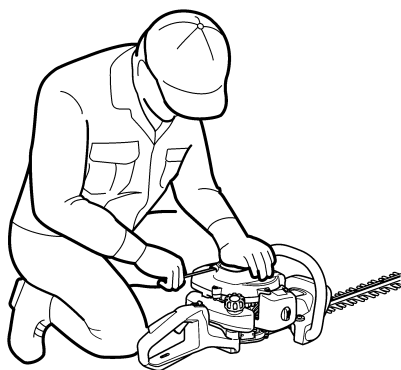
1. チョークノブを引き出してチョークを閉じてください。

**補足** エンジン停止直後に再始動する場合はチョークを開いたままスタータノブを引いてください。

2. プライマポンプを6回以上押してキャブレタに燃料を満たしてください。

**補足** タンクに燃料が残っている状態でエンジン停止直後に再始動する場合にはポンプ操作は必要ありません。

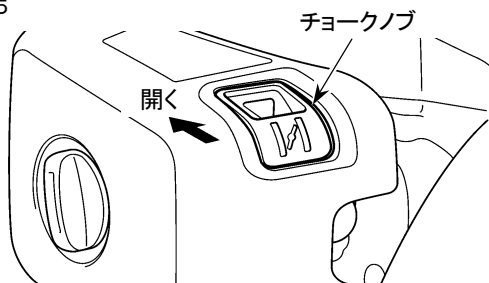
図4



3. 機体を安定した地面に置き、ブレードやスロットルレバーが地面や周囲の障害物に触れないように機体をしっかり押さえ、スタータノブを握ってエンジンの初爆音がするまでロープを引いてください。スタータノブは始めは軽く引き出し、重くなったら力をこめて素早く引いてください。

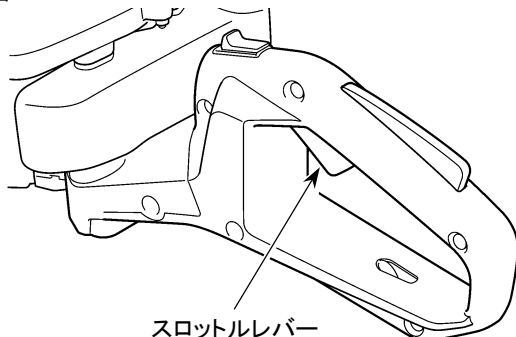
**重要** スタータ故障の原因となりますので、ロープを最後まで引き出したり、ノブから手を離して戻したりしないでください。

図5



4. エンジンの初爆音がしたら、チョークを元の位置に押し戻してからスタータノブを握ってロープを引くとエンジンが始動します。

図6



5. エンジンが始動したらリヤハンドルを握り、スロットルレバーを少し引いてください。スロットルレバーのロックが解除されます。次にスロットルレバーを戻し、ブレードが完全に停止することを確認してください。

6. 作業を始める前に2～3分間アイドリングで暖機運転をしてください。

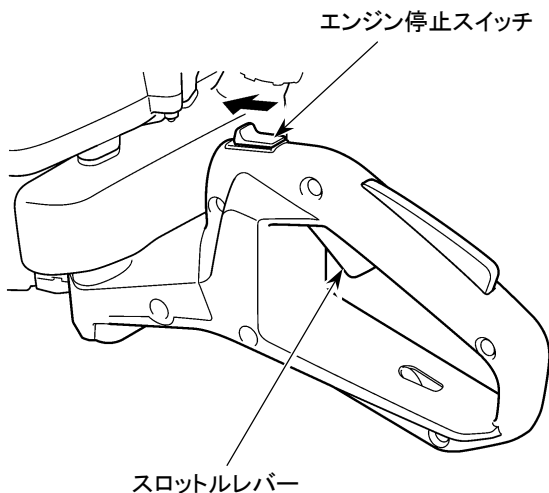
# エンジンのとめかた



**注意**

緊急時は直ちにエンジンの停止操作をしてください。

図7



1. スロットルレバーを完全に戻してください。
2. エンジン停止スイッチを矢印方向に押してください。

**補足** 接触不良等により、エンジン停止スイッチを矢印方向にしてもエンジンが止まらない場合は、チョークノブを『閉』の位置にしてください。しばらくするとエンジンが止まります。

# 操作方法



**警告**

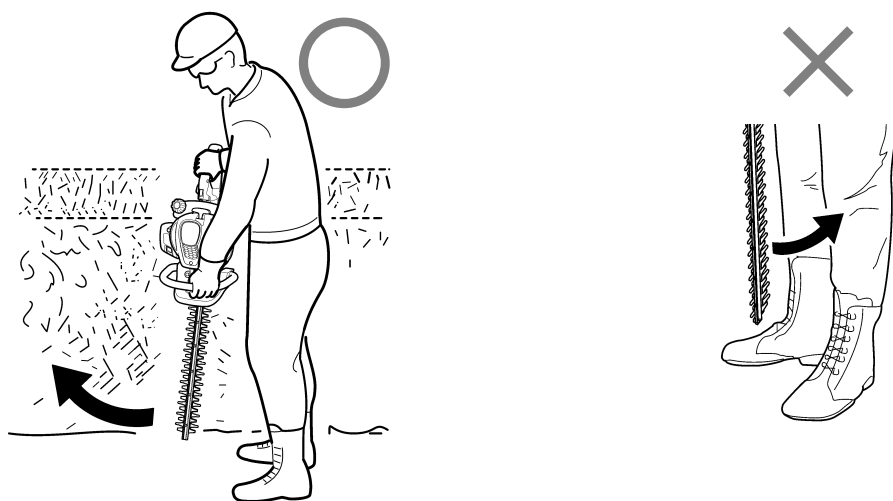
使用時は、本書の「正しくお使いいただくために」(1~6ページ)記載の注意事項を守って正しく操作してください。



**警告**

- 作業中は常にブレードが体から遠ざかる向きに操作してください。
- 使用中に枝などがブレードにかみこんだ場合は、必ずスロットルレバーを完全に戻し、エンジンを停止してから取り除いてください。

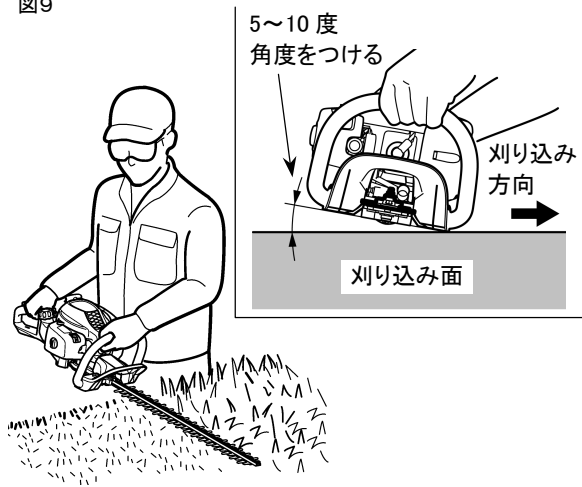
図8



**重要**

この製品は太さ10mm程度までの枝を切るように設計されています。限度を超える枝を無理に切ったりスチールワイヤなどをかみ込ませたりするとブレードや駆動装置の傷みを早めますので注意してください。

図9



エンジンの回転数は植え込みの粗密度や枝の太さに応じて、スロットルレバーで調整してください。

刈り込みを行う場合、刈り込み方向(ブレードの進行方向)に対して刃先を少し下げてください。枝の導入がよく、きれいに刈り込めます。

エンジンの回転数は必要以上に高回転にせず、枝などが刈り込める程度の回転で使用してください。

# 点 検 整 備



## 注 意

- 点検整備時は必ずエンジンを停止してください。
- 機体の改造やエンジンの分解はしないでください。
- 部品交換時はリョービ純正部品または指定品を使用してください。
- ご自身で点検整備できない場合は、お買い上げ店に依頼してください。

## ■ 作業前後点検

作業前後に次の点検を行ってください。

点 検 項 目		処 置	
1	ブレード	・ 取付ボルトゆるみ ・ 刃先磨耗 ・ 割れ、曲がり	・ 締め付け ・ 研ぎ直しまたは交換 ・ 交換
2	ハンドル	・ 取付部ゆるみ ・ 曲がり、破損	・ 締め付け ・ 交換
3	スロットルワイヤ	・ 遊び過大、過小 ・ 動きが悪い	・ 交換 ・ 修理または交換
4	エンジン取付部	・ ゆるみ	・ 締め付け
5	燃料タンク	・ 取付部ゆるみ ・ 燃料パイプ損傷 ・ キャップパッキン損傷	・ 締め付け ・ 交換 ・ 交換
6	マフラ	・ 取付部ゆるみ	・ 締め付け

## ■ 定期点検

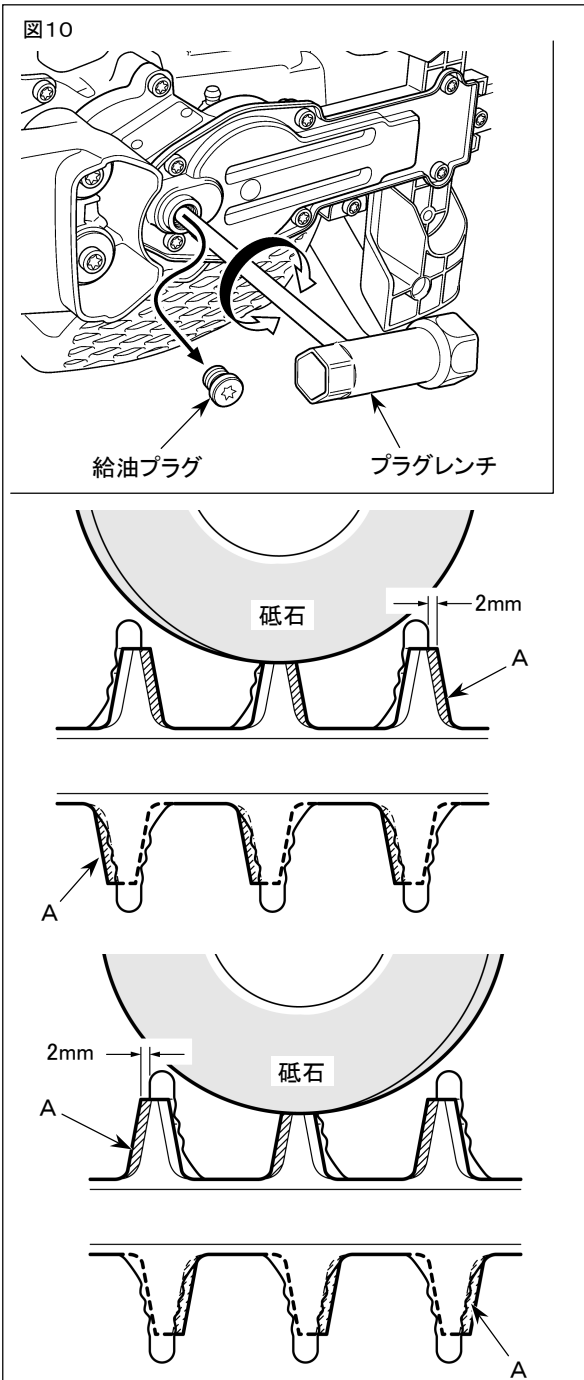
下記の使用時間毎に点検を行ってください。

点 検 整 備 項 目		使 用 時 間			備 考
		25時間	50時間	100時間	
エ ン ジ ン	シリンダフィンのゴミ除去				
	エアクリーナエレメントの清掃				
	スパークプラグの清掃と調整				スキマ 0.5mm
	燃料タンクの清掃				
	シリンダ取付ボルトの増締め				
	エンジン各部の増締め				
	スパークアレスタの清掃				
本 体	ギヤケースグリース補給				推奨：20時間毎
	クラッチドラム汚れ除去				

## ■ ブレード

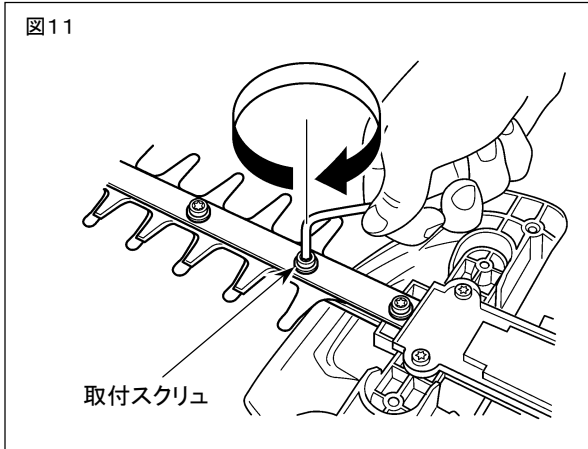
### 〔研ぎ方〕

ブレードの種類	研ぎ直し用具
両刃	平ヤスリまたは 小型のディスクサンダ



- ギヤケースの給油プラグを外し、付属のプラグレンチで上下の刃が約2mmずれた位置にブレードを動かしてください。
- 機体を確実に固定した後、上側の刃の突き出ている側（A部）を一通り研いってください。次に下側の刃を同様に研いってください。
- 再びプラグレンチで上下の刃が 1.と逆方向に約2mmずれた位置にブレードを動かしてください。
- 上下の刃それぞれの突き出ている側を 2.の要領で研いってください。

### [ブレード取付スクリュのゆるみ点検]

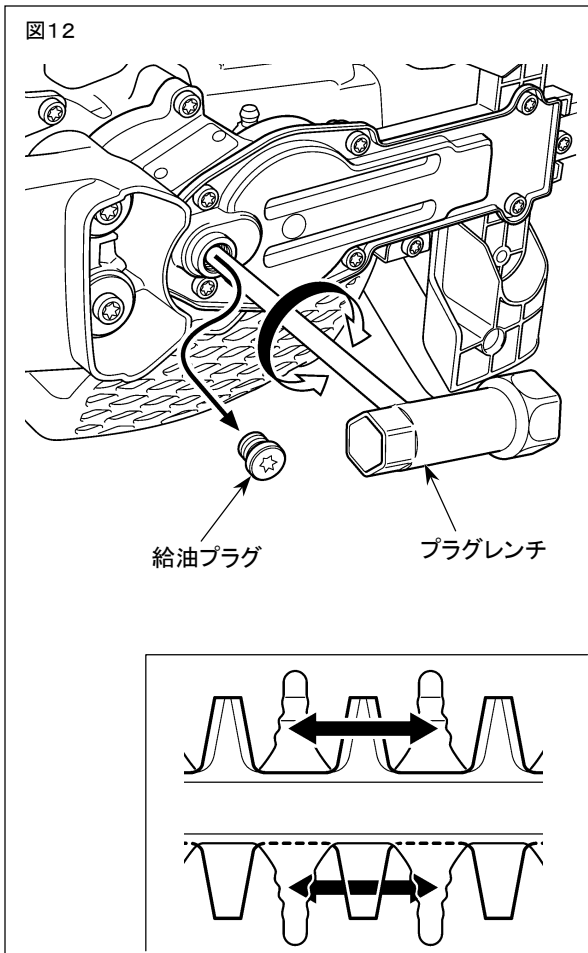


ブレードの取付スクリュにゆるみがないか確認してください。

【締め付けトルク】

7～10N・m{71～102kgf-cm}

### [ブレードの点検]



刃先が破損や変形していないことを確認してください。

ギヤケースの給油プラグを外し、付属のプラグレンチでブレードがスムーズに動くことを確認してください。ブレードが固着している場合もこの操作を行ってください。

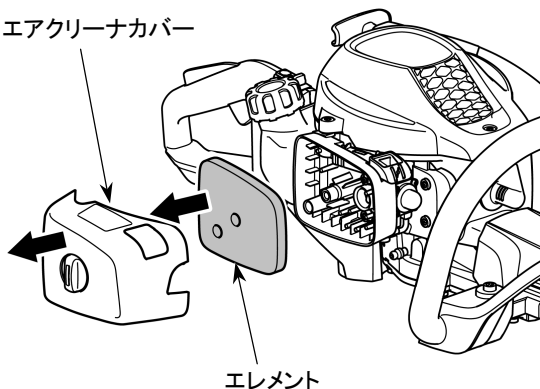
ワイヤブラシを使って樹脂や汚れを落とした後、機械油等の粘度の低い油を塗布してください。

**重要** 部品を交換する場合は、純正品を使用してください。他のメーカーの部品を使用すると故障や他の人へ傷害を引き起こす可能性があります。また、推奨していないアクセサリや付属品を使用することによって生じた損害や賠償責任に対して、保証はされません。

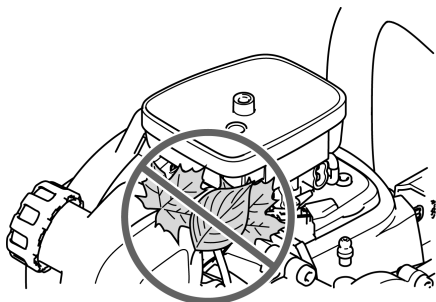
## ■ エアクリーナ

図13

エアクリーナカバー



エレメント



2 5時間使用毎にエアクリーナカバーを取り外して内部のゴミを取り除いてください。エレメントがひどく汚れている場合は、中性洗剤入りの温湯でていねいに洗い、よく乾燥させてから下記要領でオイルを含ませて、元通り取り付けてください。

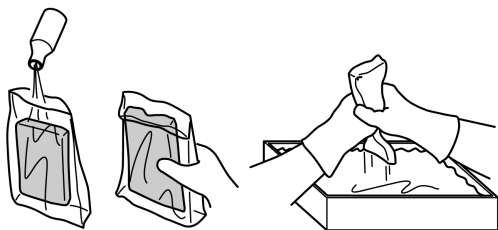
エレメントが洗浄してもきれいにならない場合や変形・破損した場合は新品と交換してください。

**重要** エアクリーナエレメントが詰まるとエンジン性能が低下します。また、エレメントを外して運転したり、変形・破損したエレメントを付けて運転を続けるとエンジン内部が異常摩耗します。

**重要**

フィルタオイルを取扱う際は、必ずゴム手袋を着用し、素手で触らないでください。

図14



### 〔エレメントへの給油〕

給油時は、専用のフィルタオイルまたは2サイクル用オイルを使用してください。

1. ビニール袋にエレメントを入れ、その上にフィルタオイルを注いでください。
2. ビニール袋をもんでエレメントにオイルを均等に染み込ませてください。
3. 余分なオイルをビニール袋から絞り出してください。

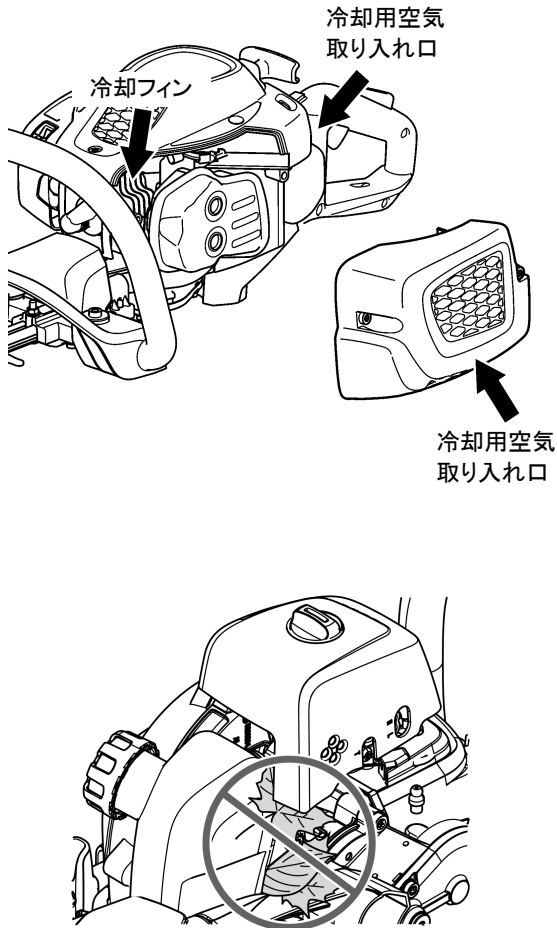
## ■ 冷却用空気通路



注意

運転中は冷却用空気取り入れ口に物を差し込んだりしないでください。  
回転部品に触れる恐れがあり危険です。

図15




2.5時間使用毎に冷却用空気取り入れ口やシリンダの冷却フィン回りを点検し、付着したゴミを取り除いてください。

**重要**

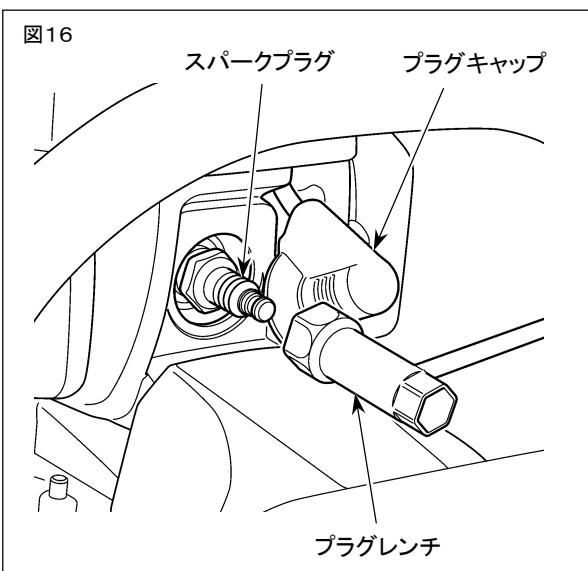
冷却用の空気取り入れ口やシリンダフィンの中にゴミが詰まるとエンジンが過熱し、ピストンやシリンダに損傷を与える原因となります。



## ■ スパークプラグ

 <b>注意</b>	エンジン停止直後は素手でスパークプラグにさわらないでください。 高温のためやけどを負う恐れがあります。
---	--

<b>重要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スパークプラグの締め付けが強過ぎるとシリンダのネジ部が破損することがあります。プラグ締め付け時は必ず付属のプラグレンチを使用してください。</li> <li>● 燃料を吸い込み過ぎたり、オイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。</li> <li>● プラグ交換時は指定品を使用してください。 指定外品を使用するとシリンダやピストンが破損することがあります。</li> </ul>
-----------	---



2.5時間使用毎にスパークプラグを取り外して電極を点検し、汚れている場合はワイヤブラシなどで取り除いてください。

プラグ取り付け時は、指でねじ込んでから、最後に付属のプラグレンチで締め付けます。

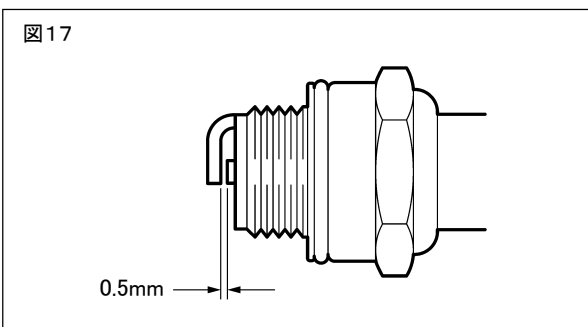
【締め付けトルク】

10～12N・m{100～120kgf-cm}

**重要** 初めからプラグレンチで締め込むとねじ山が破損する恐れがあります。

プラグ交換時は指定品を使用してください。

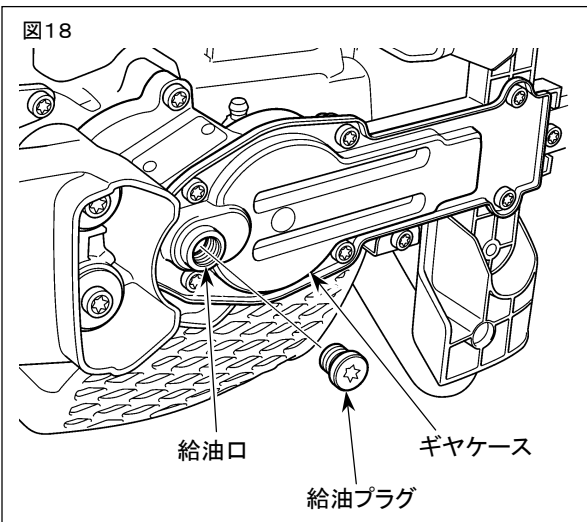
指定スパークプラグ	NGK CMR6A
-----------	-----------



電極間隙は0.5mmが適当です。

## ■ ギヤケース

<p><b>注意</b></p>	<p>グリース補充の際、グリースガンは使用しないでください。 また、ギヤケース内にグリースを一杯に補充しないでください。運転中にグリースが膨張してシールが破損し、グリースが漏れる恐れがあります。</p>
------------------	---



2.5時間使用毎をめぐりにグリースをギヤケースに補充してください。

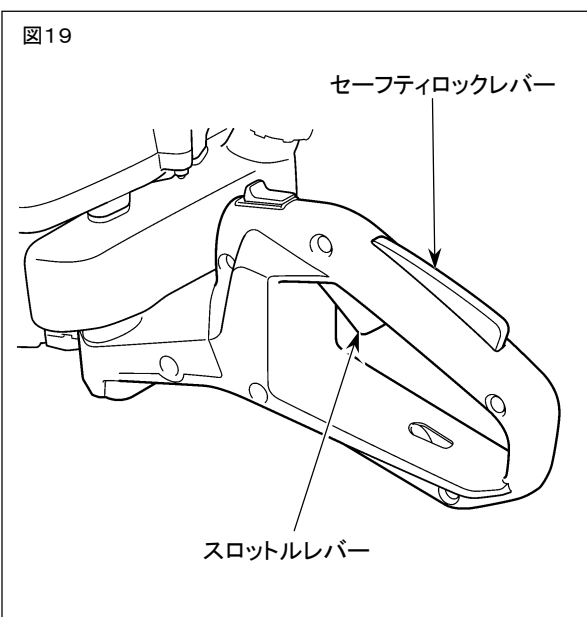
### 〔補充方法〕

給油プラグを外し、給油口からギヤケース内に付属のグリースを注入してください。

<p>指定グリース</p>	<p>ギヤケース用グリース(付属品) または リチウム系耐熱用グリース(#2)</p>
---------------	---

## ■ 安全装置(セーフティロック)の点検

<p><b>警告</b></p>	<p>安全装置に欠陥がある場合は使用を中止してください。</p>
------------------	----------------------------------



スロットルレバーの不意な操作を避けるためにセーフティロックレバーが装備されています。グリップ部を握ることによりこのレバーが押されてロックが解除され、スロットルレバーを引くことができます。始業前に下記の点検を行ってください。

セーフティロックレバーを押していないとき(グリップを握っていないとき)はスロットルレバーが動かないこと。

グリップを握って放したときにセーフティロックレバーが元の位置に戻ること。

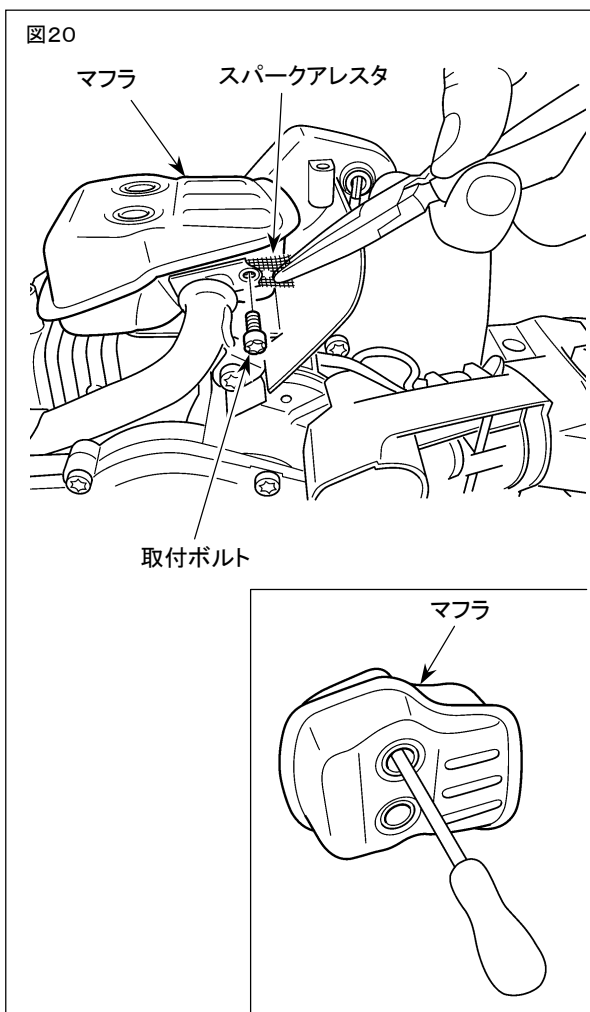
グリップを握った状態でスロットルレバーが自由に動くこと。

**重要** 上記の点検で欠陥が見つかった場合には、お買い上げ店にご連絡ください。

## ■ マフラ

<b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 始業点検時にスクリュのゆるみがないか、マフラの破損やさびがないか点検してください。マフラの取り付けを誤ると運転中にマフラがゆるんで高温の排気ガスが吹き出す危険があります。もし、排気ガスが漏れ出した場合は、すぐにエンジンを停止し、お買い上げ店に点検、修理を依頼してください。</li><li>● エンジン停止直後は素手でマフラに触らないでください。高温のためやけどを負う恐れがあります。</li></ul>
-----------	--

<b>重要</b>	カーボンがマフラに溜まってしまうと、エンジンの出力不足や始動性の悪化につながります。
-----------	--



本機のマフラはカーボンが火の粉となってテールパイプから放出されることを防ぐためにスパークアレスタを装着しています。50時間使用毎を目安に、マフラを下記の手順で点検してください。

1. 取付スクリュを外してマフラからスパークアレスタを横に引き抜いてください。

スパークアレスタが破損していないか確かめ、破損している場合は新品と交換してください。

スパークアレスタにカーボンが付着している場合は、ワイヤブラシなどで取り除き、きれいにしてください。

マフラにカーボンが付着している場合は、取り除いてください。

2. 取り外しの逆手順で取り付けてください。

**重要** スパークアレスタを外して運転したり、変形、破損したスパークアレスタをつけて運転しないでください。

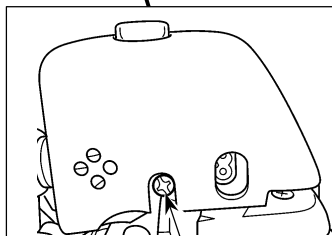
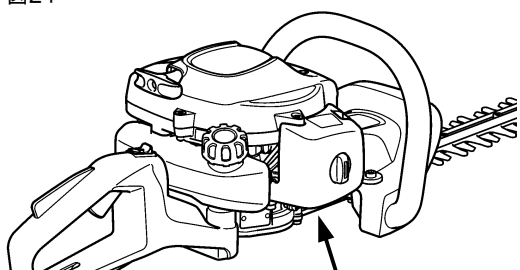
## ■ エンジンの調整

<b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● エンジンの調整を誤ると、エンジンの最高回転数が許容値を超え、エンジンが破損する恐れがあります。高速回転中のエンジン破損は、破片によって重大事故を招く危険があります。エンジン調整時は、下記の要領を必ず守ってください。</li><li>● 下記の調整をしても、スロットルレバーを完全に戻した時にブレードが動き続ける場合は、お買い上げ店にご相談ください。</li><li>● 正しく調節されるか、修理が完了するまでは本機を使用しないでください。</li></ul>
-----------	---

<b>注意</b>	スロットルレバーから指を離した後もブレードが動き続ける状態は危険です。下記要領でアイドル調整スクリュを再調整しても直らない場合は、スロットルレバーの作動不良やクラッチ故障などの可能性がありますので、お買い上げ店に点検修理を依頼してください。
-----------	--

<b>重要</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● エンジンの回転数は工場出荷時に調整されていますが、運転条件の変化(エンジンのなじみ具合、空気密度の変化等)により、再調整が必要となる場合があります。調整が必要な場合は、下記要領で行ないますが、不慣れな方はできるだけお買い上げ店に依頼してください。また、<b>下記手順で調整しても調整できない場合もお買い上げ店に依頼してください。</b></li><li>● 調整前に以下の事項を確認してください。<ul style="list-style-type: none"><li>・エアクリーナカバーが装着されておりエアフィルタが汚れていないこと。</li><li>・燃料が適正であること。</li><li>・スロットルレバーのロックが解除されていること。</li></ul></li></ul>
-----------	--

図21



アイドル調整スクリュ  
↻ 回転上がる  
↻ 回転下がる

アイドル調整スクリュ(T)はスロットルレバーを最低速の位置にした時のエンジン回転数を調整するスクリュです。

右(時計回り)に回すと回転が上がり、左(反時計回り)に回すと回転が下がります。

スロットルレバーを完全に戻した時ブレードが動き続けたりエンジンが止まってしまう場合は再調整してください。

### [アイドル回転数の調整手順]

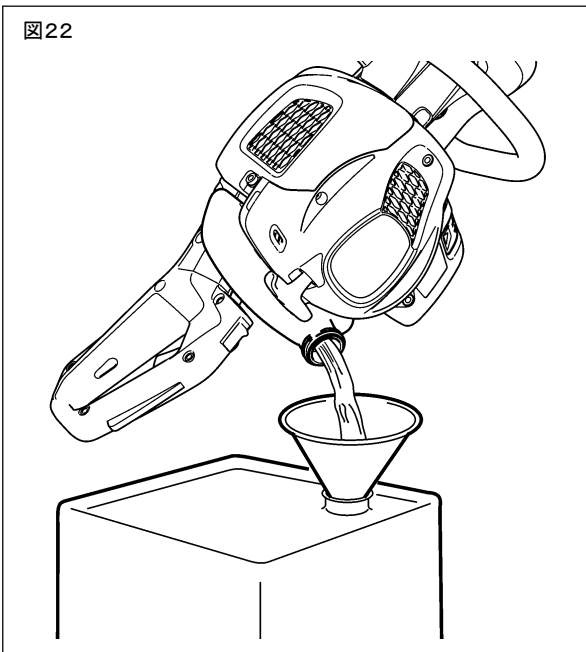
まずスクリュをブレードが動き始めるまで時計回りに回し、次にブレードが止まるまで反時計回りに回します。その際、エンジンがスムーズに回転していることを確認してください。

## ■ 長期保管時の手入れ

<b>危険</b>	引火による火災の恐れがあります。 ● 燃料抜き取り時は、火気を遠ざけてください。 ● 燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。
-----------	--

<b>重要</b>	● 長期間(2カ月以上)使用しない場合は、燃料タンクとキャブレタから燃料を抜いてください。燃料を入れたまま放置すると燃料が変質してキャブレタ内部が詰まり、エンジン故障(始動不良や出力不足)の原因となります。 ● 保管時は、燃料タンクのキャップをゆるめにしてください。強く締め過ぎると経時変化によりパッキンが変形することがあります。
-----------	--

図22




1. 機体の汚れを落としながら、各部の損傷やゆるみなどの有無を点検し、異常が発見された箇所は次回の使用に備え完全に整備してください。
2. 燃料タンクから燃料フィルタを引き出した後、タンク内の燃料を容器に移してください。
3. キャブレタのプライマポンプを数回押し、燃料タンクに戻った燃料を容器に移してください。
4. 燃料フィルタをタンクに戻し、燃料タンクキャップを取り付けてください。
5. エンジンを始動し、自然に止まるまで運転してください。
6. スパークプラグを取り外し、2サイクルオイルを1~2mLエンジン内に入れてください。スタータロープを2~3回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。
7. ギヤケースにグリースを補給してください。
8. ブレードに軽くオイルを塗布してください。
9. ブレードにカバーを取り付け、屋内の火気や湿気のない場所に保管してください。

## 故障のときは

現象	主な原因	処置
エンジンが始動しない	・ 燃料不良(異質、劣化)	・ 正規燃料と交換(10, 11頁)
	・ 燃料吸い込み過ぎ	・ チョークを開き、スロットルを全開にしてスタータブを繰り返し引く(13頁)
	・ マフラ排気出口詰まり	・ 詰まり除去(23頁)
	・ スパークプラグ電極汚損、短絡、断線	・ 電極清掃またはプラグ交換(21頁☆)
停止スイッチを操作してもエンジンが止まらない	・ スイッチコード接続不良	・ 確実に接続する
エンジンが加速しない	・ 燃料不良(異質、劣化)	・ 正規燃料と交換(10, 11頁)
	・ マフラ排気口詰まり	・ マフラ清掃(23頁)
スロットルを戻すとエンストする	・ アイドリング回転数が低すぎる	・ 再調整(24頁)
スロットルを戻してもブレードが回り続ける	・ アイドリング回転数が高すぎる	・ 再調整(24頁)
	・ スロットルワイヤの遊びがない	・ ワイヤ取り回し点検、交換
エンジンの回転が変動する	・ 燃料フィルタ目詰まり	・ 燃料フィルタ清掃または交換
異常振動	・ ブレード変形、損傷	・ ブレード交換(☆)
燃費悪化	・ エアクリーナ目詰まり	・ エアクリーナ清掃(19頁)
	・ ブレード切れ味低下	・ ブレード交換(☆)
刃が動かない	・ 刃の曲がり、破損	・ 交換(☆)

・ 上記処置を講じても現象が改善しない場合や、上記以外の不調現象が生じた場合は、お買い上げ店にご相談ください。

・ ☆印のついている処置につきましては、お買い上げ店で純正部品をお求めください。

 <b>危険</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機械の改造や分解等はしないでください。運転時に機体が破損したり、燃料漏れや作動不良による不測の事故を招く恐れがあります。</li> <li>● 点検処置時はタバコなどの火気を遠ざけてください。燃料に引火する恐れがあります。</li> <li>● 機体各部の締結部品(ボルト、ナット、ネジ類)は必ず純正品または指定品を使用してください。規格外品を使用すると、使用中に機体が破損したり部品が脱落したりして不測の事故を招く恐れがあります。</li> </ul>
--	--



## 保証書

商品名 エンジンヘッドトリマ		モデル名
		本体製造番号
ご購入者	お名前	ご住所 〒  電話 ( )
	お買い上げ日(販売店記入)  年 月 日	
		販売店名・住所・電話番号(販売店記入)  印

レシート貼付

リョービ販売株式会社  
〒468-8512  
愛知県名古屋市長久区久方 1-145-1  
TEL.(052) 806 - 5111

お買い上げいただきました商品は厳重な品質管理のもとに製造されておりますが、万一、材質または製造上の欠陥により故障が発生した場合は下記規定に従って無料で修理させていただきます。

### 保証の有効期間

この保証は未使用商品お買い上げ日から1年間有効です。ただし、上記販売店記入欄が空白の場合は無効となりますので、お買い上げ時にご確認ください。

### 保証手続

この保証による無料修理(以下、保証修理といいます)をお受けになる際は、商品に本書を添えてお買い上げ店にご持参ください。

ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、リョービ販売営業所にお問い合わせください。

### 保証除外事項

次のいずれかの場合は保証修理または損失補填の責を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ・取扱説明書記載の注意事項に従わなかったり、日常点検整備を怠った結果生じた故障
- ・商品分解状態でのお持ち込み
- ・純正部品または指定品以外の使用に起因する故障
- ・使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷
- ・お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障または損傷
- ・業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
- ・商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
- ・使用損耗および経時変化による外観の劣化(刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど)
- ・自然災害または事故、過失、不注意による機体の損傷
- ・消耗部品および油脂類(ブレード、スパークプラグ、パッキン、ガスケット、エアクリーナエレメント、燃料フィルタ、ゴム部品、コントロールワイヤおよびこれらに類する消耗品、燃料、エンジンオイル、グリースおよびこれらに類するもの)
- ・修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失(休業経費、代替資材費、役務経費等)
- ・商品が日本国外で使用される場合(This warranty is valid only in Japan.)

改良のためお断り無く仕様、外観などを変更することがあります。

本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

部品のご入用、故障の場合、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。